

白山市の

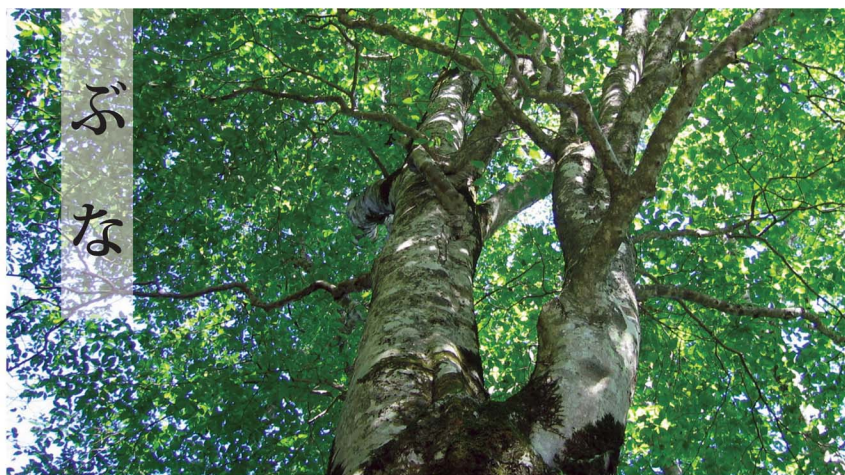
花

木

鳥



あさがお



ぶな



うぐいす

提供：関 幸良さん

市の花 あさがお

俳人加賀の千代女の代表句である「朝顔やつるべとられてもらひ水」は、日本はもとより、広く海外にも知られています。

そのゆかりのある朝顔は、清楚にして優雅に咲き、古くから家の庭先で栽培されるなど市民に親しまれ、栽培普及がしやすい花であり、市の花に制定しました。

市の木 ぶな

全国に誇れる白山のぶな原生林は、水を蓄え、清らかな水を生成し、その水は手取川を流れ、平野を潤し、日本海へ流れ込み、私たちに大きな恵みをもたらしています。また、豊富な地下水の供給など水源涵養機能にも優れています。

その姿は神秘的で、豊かな自然の恵みを与える生命の源であり、自然の象徴でもあります。このことからぶなを市の木に制定しました。

市の鳥 うぐいす

白山市内に広く生息するうぐいすは、平地から山にかけて春の訪れを知らせてくれます。その愛らしい鳴き声は古くから市民に親しまれ、また古来より詩歌に詠まれるなど、自然と文化のまちづくりを目指す本市にふさわしい鳥です。

愛らしい鳴き声と端正な姿は、白山市の発展と市民の幸せの象徴としてふさわしく、市の鳥に制定しました。